

## 「第5回マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」 助成テーマ決定

株式会社マンダム(本社:大阪市、社長執行役員:西村元延 以下マンダム)は、動物愛護の考えのもと、動物実験代替法の開発に取り組んでいます。その研究の一環として、2007年度より日本動物実験代替法学会の全面的なご協力のもと、「マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」を行っています。今回で第5回目の実施となり、厳正な審査の結果、2件の研究テーマに助成交付が決定しました。

### 助成テーマについて

2011年11月1日に募集を開始した「第5回マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」は、2012年2月29日で募集を締め切り、9件の応募をいただきました。厳正な審査の結果、今回の研究助成交付は以下2件に決定しました。

研究助成交付者(所属)敬称略	研究課題
林 久允 (東京大学大学院)	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症2型(PFIC2)の治療法開発
梶 弘和 (東北大学大学院)	マイクロ流体デバイスを用いる眼底組織培養モデルの開発

上記2件については、2012年6月より研究助成を開始いたします。

なお、「第6回マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」の実施についても、現在検討中です。詳細が決定しましたら、再度ご案内します。

## 【マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募について】

「マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」は、動物実験代替法に関する研究を進めるため、動物実験代替法における研究を広く奨励し、代替法分野における研究の活性化を図ることを目的に、2007年度より実施しています。

第5回についても、以下の条件にて、アジアを中心とした世界中から動物実験代替法に関する研究テーマを募り、採用テーマに対し、研究助成を行っています。

## ■第5回募集要項

- |         |   |
|---------|---|
| ①テーマ    | 動物実験代替法に関する研究(研究分野は問わない)  |
| ②助成内容   | 1件あたり50万円～200万円、総額250万円/年間  |
| ③スケジュール | 2011年11月1日 募集開始<br>2012年2月29日 募集締切<br>2012年3月上旬 選考開始<br>2012年4月下旬 助成テーマ決定<br>2013年3月31日迄 助成期間 |

## 【動物実験代替法が開発される背景】

近年世界各国で動物愛護運動が高まっています。それに伴い、欧州連合(EU)では、2004年から化粧品品の最終製品に対して、また2009年3月からは化粧品の原料に対しても、動物実験が禁止になりました。2013年には、動物実験を行った原料を含む化粧品の製品すべてが販売できなくなる予定です。

日本でも、3Rs(Replacement:動物実験の置き換え、Reduction:動物使用数の削減、Refinement:実験時の動物への苦痛の軽減)の概念に則って、動物実験の見直しが動物愛護の観点から社会的に重要視される傾向があり、動物実験代替法の開発が活発になってきました。

一方、化粧品の安全性は、様々な方法で確認する必要があります。マンダムでは、現在可能な限り動物を使用しない方法にて評価を行っていますが、今後さらなる安全性確保のためには、より進んだ動物実験代替法の開発が急務となっています。現在3Rsの中でも、「Replacement」に着目し、動物実験代替法の開発に取り組んでいますが、その一環として、動物実験代替法研究への公募による助成を行っています。

以上